

あいさつ名人発見！

あいさつと笑顔が 元気と癒しをくれました

私たちの職場や学校には、あまり目立たないけれど、私たちの生活の快適さや安全を支えている方たちがいます。

例えば、清掃員の方、学校では給食を作る方、用務員さんなどが思い浮かびます。

今回、「小さな親切」実行章を受章したのは、同じく縁の下の力持ち的存在。

私たちの安全を守る警備会社に勤める長村由香さんです。

長

村由香さん（セコムジャスティック（株）東京本部）は、城南信用金

庫事務センターの受付業務を担当し、従業員の入退館のチェックや、お客様や業者の方の対応を行っていらっしゃいました。受付での長村さんの誰よりも元気なあいさつ、そして明るい笑顔は、多くの従業員の皆さんの心の安らぎとなりました。

長村さんを「小さな親切」実行章に推薦してくださったのは、（株）城南情報サービス（東京都世田谷区）の皆さんです。実は、同社取締役社長

の小林和明さん（中央本部理事）は、

「小さな親切」実行章の受章者。中学1年の時に、近所のお年寄りのお手伝いをし実行章を受章して以来、思いやりを持って人と接することゝを常に心がけ、仕事にも活かしてきた、とおっしゃいます。

スタッフの皆さんにも、親切や思いやりに触れてもらいたいと、研修では「小さな親切」作文コンクールとエッセイコンテストの入賞作品集を活用。朝礼等でもご自身の経験をもとに思いやりの大切さを日頃から

伝えていらつしゃいます。

そ

のおかげで、スタッフの皆さんの心にあった「思いやりの芽」が大きく育ったのでしょう。長村さんが異動すると知り、「長村さんのあいさつが、聞けなくなるのはさみしい」「今までの感謝の気持ちを伝えたい」との声がたくさんあがり、実行章への推薦となりました。スタッフの皆さんから自発的に、このような話が出たことが、小林社長には何にもまして嬉しいことでした。

実

行章の推薦書を書いてくださったのは、総務部長の高橋誠さん。長村さんのあいさつのすばらしさ、そして別れを惜しむ皆さんの気持ちが行間から伝わってきます。

雨の日も、晴れの日も、いつも起立して、さわやかな笑顔であいさつしてくれる。大雨でずぶ濡れになって出勤した時も、電車が遅れて慌てて入館した時も、仕事でいやなことがあった時も、当社の受付には癒しの空間があった。何人の社員や派遣スタッフが、その笑顔とあいさつで救われただろうか。

（推薦書抜粋）

あいさつをほめていただいて

実行章贈呈式には、推薦者の（株）城南情報サービスの皆さん（小林和明取締役社長はじめ、職員、派遣

長村由香さんの笑顔は最高





スタッフ）が参加。また、長村さんの上司である松岡紀明さん（同社第四事務所所長）、丹野英泰さん（同社城南信用金庫事務センター派遣隊長〈当時〉）も同席し、「自社では、

接客対応の良い社員を表彰する制度はありますが、外部の会社の方からこのような表彰を受けるのは、私の記憶にはありません」と、我がことのように喜んでいらっしゃいました。

長

村さん自身も、贈呈式には少し緊張気味でしたが、

「今までの人生の中で、表彰を受けるのは初めて」と、すぐにいつもの輝くような笑顔に戻り、「私のモットーは、『いつも元気で笑顔で明るく』です。皆さんが気持ちよく出勤して、明日も頑張ろう



受章式の後、スタッフの皆様と談笑

と思うて帰ってくださったらいいな、と思ってお声掛けしていました」と、喜びを語ってくださいました。

実は、前職は保育士さんだったという長村さん。大きな声であいさつをしたり、お子さんの対応には慣れていた、とのことですが、何か秘訣があるのでしょうか。

実

は、自分ではそんなに意識しているわけではなかったんです。スタッフの皆さんが、私のあいさつをほめてくださるので、『自分のあいさつって、良いのかな？』と気づいたくらいで。こちらのスタッフの皆さんは、いつもやさしく、温かく接してくださるので、受付の仕事を続けることができました。とても感謝しています。」と教えてくださいま

した。

同じ働く女性であり、家庭では家事や育児に忙しいスタッフの皆さん。体調がすぐれないとき、嫌なことがあったとき、それを顔に出さず明るくふるまうことの難しさを実感しているからこそ、長村さんのいつも変わらぬ笑顔に感動したのかもしれない。

ま

た、「自分には同じことができないだろうか」「子どもにはこんなあいさつができる人になってほしい」と、それぞれ何かを感じていらっしゃいました。あいさつを受ける側にも、豊かな感受性があったからこそ、お互いに相手を気遣う関係ができ、長村さんもモチベーションを保っていらっしやったのかな、とも感じました。

長村さんありがとう！

「長村さんの笑顔とあいさつは、今まで出会った人の中で一番です！」

「子どもが家の鍵を忘れて学校に行っしまい、会社まで取りに来てもらった時、建物の中に入るのを躊躇していた子どもに、長村さんが優しく対応してくださいました」

「長村さんと接して改めて、あいさつが人に与える影響を実感。今、子どもが就職活動をしているので、長村さんのあいさつのすばらしさを話してかせています」（スタッフの皆さんより）

周りの人に、「元気」や「癒し」を与えた長村さんのあいさつ。人間関係づくりの第一歩はやはり、あいさつからと深く実感した贈呈式でした。